

# 授業料免除申請（平成24年度前期分）



## 提出書類チェックリスト

学籍番号						
------	--	--	--	--	--	--

氏名	
----	--

各自で本チェックリストに基づき提出書類を確認し、この封筒に入れて提出してください。  
提出書類に不備があると、審査の対象となりません。

Check	日本人学生	
	授業料免除申請書	[別紙様式3]
	授業料徴収猶予申請書	[別紙様式4]
	家庭調書	
	収入状況調書	
	住民票（同一生計の全員分）	
	所得に関する証明書（前年分） 源泉徴収票 ・ 確定申告書(写) ・ 給与明細書	
	（指導教員の）推薦書	大学院学生のみ
	独立生計申立書（両親と別居して独立している者）	該当学生のみ
	在学証明書（家族の就学者）	
	授業料免除等証明書	

Check	私費外国人留学生	
	授業料免除申請書	[別紙様式3]
	授業料徴収猶予申請書	[別紙様式4]
	家庭調書	
	収入状況等に関する申立書	
	外国人登録済証明書（同居家族全員分）	
	所得に関する証明書（前年分） 源泉徴収票 ・ 確定申告書(写) ・ 給与明細書	
	前記の所得関係書類が得られない場合 （次の書類を提出） VISA取得のために提出した書類、預金通帳の写 本国からの送金証明、奨学金支給の証明書類	
	（指導教員の）推薦書	大学院学生のみ
	独立生計申立書	該当学生のみ
	在学証明書（家族の就学者）	
	授業料免除等証明書	

Check	（日本人学生、私費外国人留学生共通） 該当する事項がある場合	
	その他所得関係書類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	該当事項は、「授業料免除のしおり」を参照してください。 「空欄」には、該当する項目を記入し、チェックしてください。
	戸籍謄本(母子・父子家庭の場合)	
	無職証明（家族内に18歳以上で無職の者がいる場合）市区町村の民生委員発行。専業主婦除く	

提出先 東京医科歯科大学 学務部学生支援課

（1号館西1階）

# 授業料免除のしおり

## (在学生用)

東京医科歯科大学学務部学生支援課

### 授業料免除制度とは

学生の申請に基づき、申請者の家計状況及び学業成績をもとに大学が選考のうえ授業料の全額又は半額を免除する制度です。

書類の不備により審査が滞る事例が多いので、充分確認のうえ提出してください。

#### 【免除対象者】

- ① 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
- ② 次の特別な事情により、納付が著しく困難であると認められる者
  - a. 平成24年度前期分納付（4月1日基準）前6月以内に、学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は申請者である学生本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
  - b. a. に準ずる場合で、学長が相当と認める事由がある場合

なお、最短の修業年限を超えて在学する者や留年している者は免除の対象となりませんが、相応の理由により対象となることがありますので学生支援課までご相談下さい。

また、免除の許可、不許可の判定にあたっては、「経済状況」と「学業成績」の両面が考慮され、経済的理由だけでなく学業成績が基準に適合しないため不許可となる事例も多々あります。

### 申請書類の受付等

#### 1. 申請書類の受付

#### 【学部学生・大学院生共通】

平成24年3月13日（火）～3月16日（金） 4日間

受付時間：12：30～17：15

**Be very careful to observe the deadline!**

※期間・時間は絶対厳守のこと。期間外は一切受け付けない。

※申請書の提出は本人提出のこと。**本人以外の提出は受理しません。**

ただし、病気等特別な理由で期間内に本人が提出できないときは、学生支援課へ事前に相談してください。

#### 2. 提出先

- 学務部学生支援課 （1号館西1階）03-5803-5077

## 選考結果の告知

許可、不許可の結果を掲示板（学生支援課・教養部）に告知します。許可、不許可の決定は、6月頃になる見込みです。

## 免除されなかった場合の納付について

**免除不許可者、半額免除許可者**は、支払うべき授業料を速やかに授業料の振替口座へ入金して下さい(口座振替についての問い合わせ先…財務部資金課収入管理掛 5803-5048)。

授業料を所定の期間内に納付しなかった者で、督促を受け、なおかつ怠る者については、学則又は大学院学則の規定に基づき退学が命ぜられます。

## 申請書類

免除申請に必要な書類は次のとおりです。書類に不備がある場合は、選考・審査の対象とならないので十分注意してください。

また、各書類の記入にあたっては、「記入要領」をよくお読みください。

### 【日本人学生が提出する書類】

必ず提出しなければならない書類	
a. 授業料免除申請書	[別紙様式3]
b. 授業料徴収猶予申請書	[別紙様式4] 平成24年4月1日現在で記入してください。
c. 家庭調書	申請者と生計を一にする家族のうち、 <u>就学者以外の家族全員分</u> を記入してください。(別居していても生計を一にしている者がある場合を含む。)
d. 収入状況調書	
e. 住民票	申請者と生計を一にする <u>家族全員</u> のもの。(別居していても生計を一にしている者がある場合を含む。)
f. 所得に関する証明書	「住民票」に記載されている者のうち、 <u>所得がある者全員の所得額を証明できる書類</u> ・前年の市区町村民税・都道府県民税課税証明書 (一昨年の所得金額の記載のあるもの) <sup>※「注意事項」(P5)参照</sup> ・前年の源泉徴収票 ・前年の確定申告書(控)税務署の受付印のあるもの ・その他、「給与明細書」等所得額を確認できるもの

該当する者が提出しなければならない書類	
a. (指導教員の)推薦書	大学院学生のみ
b. 独立生計申立書	該当する学生のみ <sup>※「注意事項」(P5)参照</sup>
c. 在学証明書	家族に <u>義務教育を除く</u> 就学者がいる場合
d. 授業料免除等状況証明書	<u>国立の学校に在学する</u> 家族がいる場合
e. 無職証明書	家族の中に18歳以上で無職の者がある場合 民生委員 <sup>◎</sup> による証明が必要になります。

◎民生委員に関しては自分の居住する市町村役所に問い合わせして下さい。

-----【私費外国人留学生在が提出する書類】-----

必ず提出しなければならない書類	
a. 授業料免除申請書	[別紙様式3]
b. 授業料徴収猶予申請書	[別紙様式4]
c. 家庭調書	平成24年4月1日現在で記入してください。
d. 収入状況等に関する申立書	「平成23年分源泉徴収票」を添付してください。ない場合は別添様式「給与支払証明書」を添付してください。
e. 外国人登録済証明書	本人及び同居する家族全員のもの
f. 所得に関する証明書	家族の中で所得がある者全員の所得額を証明できる書類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の市区町村民税・都道府県民税課税証明書 (一昨年の所得金額記載のあるもの) ※「注意事項」(P5)参照</li> <li>・前年の源泉徴収票</li> <li>・前年の確定申告書(控) 税務署の受付印のあるもの</li> <li>・その他、「給与明細書の写」等所得額を確認できるもの</li> </ul>
g. 「f. 所得に関する証明書」が得られない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VISA(査証)取得のために提出した書類の写</li> <li>・預金通帳の写</li> <li>・本国からの送金(額)を証明できる書類の写</li> </ul>

該当する者が提出しなければならない書類

a. (指導教員の) 推薦書	大学院学生のみ
b. 独立生計申立書	該当する学生のみ ※「注意事項」(P5)参照
c. 在学証明書	(日本国内において) 家族に義務教育を除く就学者がいる場合
d. 授業料免除等証明書	(日本国内において) <u>国立の学校に在学する家族がいる場合</u>

-----【日本人学生・外国人留学生共通】-----

本人もしくは家族が次の事項に該当する場合の証明書類

該 当 事 項		証 明 書 類	発 行 先
所 得 関 係	家族が経営する会社等で給与収入がある場合	前年の「源泉徴収票」, 「給与明細書の写」又は「確定申告書(控)」のうちのどれか	勤務先, 税務署
	パート, アルバイトによる給与所得がある場合	前年の「源泉徴収票」又は「給与明細書の写」	勤務先
	前年の途中で就職した者	前年の「源泉徴収票」又は「給与明細書の写」	同 上
	前年10月~今年3月の間に退職した場合(予定を含む)	「退職証明書」	同 上
	雇用保険(失業等)給付金を受給されている場合	「雇用保険受給資格者票の写」, 及び「給付額を証明できる書類の写」	公共職業安定所 (ハローワーク)

年金、恩給を受給（予定を含む）している場合	「年金支給通知書、改定通知書」、又は前年の「確定申告書（控）」など年金額がわかるもの	市区町村役場（所） 社会保険庁等
商業、農業、アパート経営により所得がある場合	前年の「確定申告書（控）」	税務署等
給与所得、農業、商工林業等以外の職業により所得がある場合	同上	同上
生活保護を受けている場合	生活保護受給証	社会福祉事務所
前年10月～今年3月の間に保険金等の臨時所得がある場合	臨時所得の額を証明できる書類（保険金支払証明書等）	勤務先、保険会社等
転作奨励金を交付された場合	転作奨励金交付証明書等	市区町村役場（所）
家計支持者や学資負担者が死亡した場合（申請前6月以内）	戸籍謄本	市区町村役場（所） 勤務先等
母子・父子家庭である場合	戸籍謄本	市区町村役場（所）
障害者がいる場合	身体障害者手帳の写、又は被爆者手帳（傷害を有する場合）の写	本人所持
長期療養者（申請時現在6ヶ月以上療養中若しくは療養が必要な者）がいる場合	* 「医師の診断書」、「療養費の領収書」及び「社会保険・共済組合等からの医療給付金等を受けている場合の給付額を証明する書類」 * 同封の「明細表(長期療養者・家計支持者別居)」	病院等医療機関
主たる家計支持者が別居している場合（単身赴任等）	* （「住民票」）、別居している家計支持者が支出している住居費や光熱水費等の額を証明できる書類 * 同封の「明細表(長期療養者・家計支持者別居)」	本人保管
火災、風水害、盗難等の被害を受けた場合	「罹災証明書」又は「被災証明書」等被害の状況がわかるもの	消防署、警察署 市区町村役場（所）

#### 免除申請にかかる家計評価の試算表について

1. 授業料免除の申請にあたって、申請書を提出する前に、申請者本人にかかる家計状況を別添「試算表」により自己評価してください。
2. 家計評価額（③－④）が**マイナスの数値にならないと免除の対象となりません。**
3. あくまで、簡易試算表ですのでこの結果が必ずしも判定結果と一致するわけではありませんので、参考程度に留めておいて下さい。

#### 注意事項

1. 「独立生計」とは、申請者本人が独立して生計を営んでいることで、次の三つの条件が満たされていなければ認められません。
  - a. 父母等と別居していること。
  - b. 所得税法上、父母等の扶養親族でないこと。
  - c. 本人（又は配偶者）に収入があり、その収入について所得申告がなされ、所得証明が発行される者。

**【認定（確認）に必要な書類】**

- a. 父母等と本人各々世帯全員の住民票
- b. 父母等の源泉徴収票・確定申告書（控）等、所得税法上で扶養親族でないことが確認できるもの。
- c. 本人（又は配偶者）の所得を証明する書類（源泉徴収票・確定申告書（控））  
（これらの書類が入手困難な場合のみ、「(非)課税証明書」の提出を認める）

**【所得を証明する書類について】**

市区町村によっては、(非)課税証明書では所得の証明がなされない場合がありますので、市区町村窓口で使用目的（所得を証明する目的）を告げて、適切な証明書を取得してください。

2. 提出書類等の記載内容と事実が異なることが判明した場合は、免除の許可を取り消すこととなります。

3. 本件の問い合わせ先

東京医科歯科大学・学務部学生支援課      Tel.    03-5803-5077

[ 1号館西1階 ]

Mail address : [kousei.adm@ml.tmd.ac.jp](mailto:kousei.adm@ml.tmd.ac.jp)

**【毎年・各期の申請が必要です】**

授業料免除制度は、毎年度、各期（前期・後期）に申請が必要です。

同一年度の前期に免除が決定された者であっても、次期（後期）に申請しなかった者は審査の対象となりませんのでご注意ください。

# 記 入 要 領

在

(前期 授業料免除用) 在学生用

## 授業料免除申請書 [別紙様式 3]

1. 「氏名・住所」欄は、申請者本人及び保証人本人が、それぞれ自署してください。
2. 「申請理由」欄には、平成24年4月1日現在の状況で、申請に至った理由について家庭調書で記載できない事等を詳細に記入してください。
3. 「主たる家計支持者…」欄は、主たる家計支持者が無職又は失職中の場合の理由と、それに至った年月、現在の生活費の出所を記載してください。
4. 「電話番号」「Mail address」は、判定上緊急に連絡することがあります。**確実に連絡が取れる番号、メールアドレスをはっきりと記載してください。**

## 授業料徴収猶予申請書 [別紙様式 4]

「氏名・住所」欄は、申請者本人及び保証人本人が、それぞれ自署してください。

## 家庭調書

1. ※印の箇所は、該当事項を○で囲んでください。
2. 「大学記入欄」には記入しないで下さい。
3. 「留年・休学歴」欄  
申請時以前（過去）において、留年もしくは休学の事実を記入してください。
4. 「該当学生における独立生計者の認定」欄  
「授業料免除のしおり」5頁の注意事項を参照して、ご自分が該当するかしないかご記入下さい。
5. 「就学者を除く家族」欄
  - (1) 生計を一にする家族のうち、就学者を除く家族を記入してください。
  - (2) 父又は母が、死亡又は生別の場合は、氏名を（ ）でくり、「特別控除」欄の「母子・父子世帯」の事項に、その年月日を記入してください。
  - (3) 昼間職に就いており、夜間学校等に通っている者については、氏名の下に「(夜間就学)」と記入し、「就学者」の欄にも氏名・学校等を記入してください。
6. 「就学者」欄
  - (1) 4月1日現在の就学者について記入してください。入学予定者がいる場合には、合格通知書などにより確認をいたします。
  - (2) 「就学者」とは、生計を一にする家族のうち、次の学校に在学する者をいいます。  
小学校、中学校、高等学校、大学、大学院（専攻科を含む）、盲学校、ろう学校、養護学校、教諭養成所、専修学校（一般課程を除く。）
  - (3) 「専修学校」に在学する場合は、学校の正式名称を記入し、所在都道府県名を（ ）書きしてください。
  - (4) 「各種学校生・予備校生・浪人」及び、「防衛大学校・水産大学校等の〇〇大学校」、「インターナショナル・スクール」に在学する者、「大学の研究生・科目等履修生等」は就学者ではないので、「就学者を除く家族」欄に氏名等を記入してください。
  - (5) 兄弟姉妹（小・中学生を除く。）又は配偶者が、前年度から国立学校に在学している場合は、「授業料免除等証明書 [様式 7]」により、授業料免除の有無を記入してください。  
前期・後期とも授業料免除を受けていない場合は、「授業料年額」欄は空欄としてください。

なお、兄弟姉妹又は配偶者が本学（東京医科歯科大学）に在学している場合は、「在学学校（学年）」欄に学部（研究科）名も記入してください。

## 7. 「特別控除」欄

(1) 「母子・父子世帯」とは次に該当する世帯をいいます。

- a. 母又は父と18歳未満の子女の世帯
- b. 母又は父と18歳未満の子女及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯
- c. 18歳未満の子女の世帯
- d. 18歳未満の子女及び60歳以上の祖父母の世帯
- e. 配偶者のいない兄姉と18歳未満の子女の世帯
- f. 配偶者のいない兄姉と18歳未満の子女及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯

(注意)・18歳以上の兄弟姉妹でも、就学又は長期療養・身体障害等で経済力のない者は、18歳未満とみなす。

・「経済力のない祖父母」とは、前年の所得金額が50万円以下の者をいいます。

・「祖父母」又は「兄姉」には、それぞれ一方だけの場合も含まれます。

(2) 「障害者等のいる世帯」とは、家族の中で次に該当する者がいる世帯をいいます。

- a. 身体障害者福祉法に基づき、「身体障害者手帳」の交付を受けている者又はこれに準ずる者
- b. 公害疾病の認定を受けた者で、かつ当該公害による身体上の傷害がある者
- c. 原爆被爆者で、身体の機能に障害がある者
- d. 精神上的の傷害により、事理を弁識する能力を欠く常況にある者もしくは知的障害のある者と判定される者
- e. 常に就床を要し、複雑な介護を要する者

(注意)上記b～eに該当する場合は、詳細な状況を「授業料免除申請書 [様式3]」の「申請理由」欄に記載してください。

(3) 「長期療養者のいる世帯」とは、家族の中で申請時現在において、6ヶ月以上にわたり療養中又は治療を必要と認められる者がいる世帯をいいます。

療養費は、次に該当する費用とします。ただし、健康保険等から補填された額を除いてください。

- a. 医師又は歯科医師の治療を受けて支払う診療代又は治療費
- b. 病院等へ入院するため支出する費用（入院患者の食費を除く。）
- c. あんま師、鍼灸師、柔道整復師等の治療を受けるため支出する費用
- d. 看護人に対して支払う費用（賄費を含む。）
- e. 治療又は療養のため支出する医薬品費
- f. 病院等へ通院するために支出する交通費（必要不可欠と認められるものに限り。）
- g. 介護保険法により「要介護認定、要支援認定」を受けた者が、介護サービスを利用した場合にかかる費用の自己負担金10%分。

(注意) 領収書等は計算しやすいようにまとめて貼付し、同封の「明細表(長期療養者・家計支持者別居)」に内訳を記載してください。

(4) 「主たる家計支持者が別居の世帯」とは、家計支持者が単身赴任等による別居のため特別に支出している経費がある世帯をいいます。

特別に支出している経費とは、住居費、光熱・水道費等の実費に限ります。

(注意) 領収書等は計算しやすいようにまとめて貼付し、同封の「明細表(長期療養者・家計支持者別居)」に内訳を記載してください。

(5) 「火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯」とは、申請の前年から申請時までの間において被害を受け、これらの被害により経済的支出が増大し又は収入が減少して、将来長期（2年以上）にわたり著しく困窮な状況に置かれると認められる世帯をいいます。

被害額は、次により算定してください。

- ア. 日常生活を営むために必要な家財等に被害を受けた場合  
——最低限度の衣料、家具の購入費等、修理費用

- イ. 農地, 店舗等生産手段に被害を受けた場合  
 ——長期にわたって収入減を予想される年間金額  
 ウ. 被害を受けたことにより所得税の雑損控除を受けた場合は, その雑損控除の額。

### 収入状況調書 (就学者を除く家族)

- この調書には, 就学者を除くすべての生計を一にする家族を記入してください。  
 なお, 昼間職に就いており, 夜間学校等に通っている者についても忘れずに記入してください。
- 収入がない者についても「氏名, 年齢, 現在の職業」欄には漏れなく記入し, 収入額の欄は合計欄に「0」と記入してください。
- 「現在の職業」欄には, 会社員・小学校教員・市役所職員・農協職員・漁業・〇〇製造業等具体的に記入してください。職に就いていない場合も, 主婦・家事手伝い等と具体的に記入してください。
- 「給与所得」欄  
 (1) 「給与所得」とは, 俸給・給料・賃金・役員報酬・歳費・賞与・年金・恩給及びこれらの性質を有する給与 (生活保護扶助料, 失業給付金, 自営業の専従者給与, 傷病手当金等を含む。) をいいます。  
 「額」は, 所得の区分により, 次のとおりです。

区 分	金 額 (単位: 千円, 千円未満切り捨て)
俸給・給料・賃金, 役員報酬	前年1月から12月までの収入金額を記入してください。 「源泉徴収票」の「支払金額」欄の金額。
年金, 扶助料 失業給付金	前年の受給年額
専従者給与	前年分所得税の確定申告書B第二表の「事業専従者に関する事項」の金額

※「授業料免除のしおり」に記載の、「**所得に関する証明書**」を必ず提出してください。

- 「給与所得以外の所得」とは, 商・工・林・漁業及び農業等所得, 雑所得, 臨時所得が該当します。  
 ア. 商・工・林・漁業, 農業所得の「額」は, 次のとおりです。

区 分	金 額 (単位: 千円, 千円未満切り捨て)
商・工・林・漁業	前年1月から12月までの収入金額 (総売上げ高) から, 売上品原価と営業経費の必要経費を差し引いた額を記入してください。 平成22年分所得税の確定申告書B第一表の「所得金額」欄の①～⑤の金額の合計額。
農 業	前年1月から12月までの収入金額 (総粗収入) から, 肥料・種苗・家畜の肥料・動力機の燃料等 (過去1年間の収入を得るために実際に消費したもの) の購入費を差し引いた額を記入してください。 前年の確定申告書B第一表の「所得金額」欄の①～⑤の金額の合計額。

- 「その他の職業」とは, 給与所得がある職業及び商・工・林・漁業, 農業所得以外の職業で, 開業医, 弁護士, 著述業, 公認会計士, 外交員, 税理士, 大工, 左官等の職業をいいます。
- 「雑所得」とは, 家賃, 地代, 利子, 配当, 内職, 親戚等からの援助等の収入をいいます。  
 収入の額は, 前年1年間 (1月から12月まで) の額を記入してください。
- 「臨時所得」とは, **退職 (一時) 金, 保険金, 資産譲渡所得, 山林所得**等が該当します。  
 「額」は, 収入金額から公租公課 (税金, 負担金) 等の経費を差し引いた額を記入してください。  
 また, 収入の額は, **授業料免除申請前6ヶ月**に, 実際に支払いを受けた額を記入してください。

### 指導教員の推薦書

- 本様式は, 大学院学生のみを対象としています。
- 「推薦書」は, 免除判定する際の成績評価に必要なものです (推薦所見を必ず教員に記載してもらうこと)。

### 独立生計申立書

1. 本様式は、該当学生のみを対象としています。
2. 独立生計の対象となる者は、本様式に記載してある要件を全て満たしており、かつ、確認できる証書類の提出が必要です。

### 授業料免除等証明書

1. 国立の学校に在学する家族がいる場合に必要です。

### 収入状況等に関する申立書

1. 本申立書は、私費外国人留学生のみが提出するものです。
2. 「収入」については、生活していくうえで収入が0（ゼロ）円とは考えられないので、現状をありのままを記入してください。金額は、1ヶ月の平均収入額を概算で記入してください。

確認欄	1回目	2回目	3回目

Household Status Report

# 家庭調書 (授業料免除)

学籍番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

フリガナ 氏名 (name)		性別 (sex) 男 (M) 女 (F)	生年月日 (date of birth) (昭和・平成) 年 月 日生	国籍 (nationality)
----------------------	--	----------------------------	--	------------------

present address

(〒 - )	家族の住所(市区町村名)
連絡先 (Phone) ☎ - -	学内内線 (Ext.)
住居区分	①自宅、②アパート、③学生寮等、④その他( )

大学記入欄
通学区分
1: 自宅通学
2: 自宅外通学

[奨学金受給状況 (Scholarship or Grant)]

※前年度(前年4月から本年3月まで)の奨学金受給状況を記入のこと。※高校→大学は算定しない。

日本学生支援機構: ※一種、二種、併用	(年額: 円)
その他 ①: 名称[ ]	(年額: 円)
その他 ②: 名称[ ]	(年額: 円)

[留年・休学歴] ※該当の番号を○を付して記入すること。

No.	留年・休学歴の事由等	期間等	留年状況等
1	留年・休学の経験はない。		
2	学業不振・病気・留学・その他	年 月 ~ 年 月	年次( 年度再履修)
3	学業不振・病気・留学・その他	年 月 ~ 年 月	年次( 年度再履修)
4	学業不振・病気・留学・その他	年 月 ~ 年 月	年次( 年度再履修)

大学記入欄
可 不可
学力認定
1: 0: 適格 不適格

[独立生計者 (Financial Independence) の認定]

No.	該当学生における独立生計者の認定条件	認定条件の確認
1	父母等と別居していること。	※ 該当する・該当しない
2	所得税法上、父母等の扶養親族でないこと。	※ 該当する・該当しない
3	本人(又は配偶者)に収入があり、その収入について所得申告がなされ所得証明書が発行される者。	※ 該当する・該当しない

大学記入欄
可 不可

[就学者を除く家族 (Your Family)]

※該当を○で囲むこと。

続柄	氏名 (Name)	年齢 (Age)	主たる家計支持者及び本人と同居・別居の区分
本人			※ 家計支持
父		歳	※ 家計支持・同居・別居
母		歳	※ 家計支持・同居・別居
		歳	※ 家計支持・同居・別居
		歳	※ 家計支持・同居・別居
		歳	※ 家計支持・同居・別居

大学記入欄・所得状況 (千円)									
給与所得者					給与以外の所得者				

## Household Status Report

学籍番号							
------	--	--	--	--	--	--	--

## 〔就学者 (Students in your family) 〕

続柄	氏名 (年齢) Name (Age)	設置区分	在学学校 (学年)	通学区	前年度状況(国立学校の就学者)					
					授業料・免除状況		授業料 年額(千円)			
					前期	後期				
	( 歳)	※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大 学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等) 7:専修(専門) (学校名)	( 年)	※ 1:自宅 通学 2:自宅 外 通学	※ 0:無し 1:全額 2:半額	※ 0:無し 1:全額 2:半額			
	( 歳)	※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大 学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等) 7:専修(専門) (学校名)	( 年)	※ 1:自宅 通学 2:自宅 外 通学	※ 0:無し 1:全額 2:半額	※ 0:無し 1:全額 2:半額			
	( 歳)	※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1:小学校 2:中学校 3:高校 4:大 学 5:高等専門学校 6:専修学校(高等) 7:専修(専門) (学校名)	( 年)	※ 1:自宅 通学 2:自宅 外 通学	※ 0:無し 1:全額 2:半額	※ 0:無し 1:全額 2:半額			

同一生計(家計評価算出)	家族数	<input type="text"/> 人
--------------	-----	------------------------

## 〔特別控除〕

母子(父子)世帯	※ 父無し 死亡・生別( 年 月) 母無し 死亡・生別( 年 月)	0 : 該当せず 1 : 該当
障害者等のいる世帯	続柄 ( ) ※障害者・原爆被爆者(障害 有・無) 手帳番号( ) ※要介護者(状態: 級) 続柄 ( ) ※障害者・原爆被爆者(障害 有・無) 手帳番号( ) ※要介護者(状態: 級)	<input type="text"/> 人
長期療養者のいる世帯	続柄 ( ) 療養期間 年 月から ※入院・通院・自宅療養 1ヶ月当たり療養費 円 続柄 ( ) 療養期間 年 月から ※入院・通院・自宅療養 1ヶ月当たり療養費 円	合計年額 (千円)
主たる家計支持者が別居の世帯	1ヶ月当たり住居・光熱水料費等 円	
火災・風水害・盗難等の災害を受けた世帯	被害年月日・内容 (被害額) 円	

## 大学記入欄

申請区分	1:一般、2:家計、3:学力、4:事由、5:事情(家計支持者死亡)、6:事情(災害)、7:(その他)
------	--

(注1) ※印は、該当するものを○で囲むこと。 (注2) 大学記入欄には、記入しないこと。

# 収入状況調書(就学者を除く家族)

※ 『生計を一にする』家族全員を記載して下さい。

学籍番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

氏名		印
----	--	---

(注)金額欄は、千円単位で記入してください。

続柄	本人	父	母															
氏名																		
年齢																		
現在の職業																		
給与所得	給与・賃金																	
	役員報酬																	
	専従者給与																	
	年金・恩給																	
	失業給付金																	
	生活扶助費																	
	合計																	
給与以外の所得	商業																	
	工業																	
	農・林業																	
	漁業																	
	その他の職業																	
	雑所得																	
臨時所得	家賃																	
	地代																	
	利子・配当																	
	内職																	
	親戚等の援助																	
臨時所得	退職金																	
	保険金																	
	資産譲渡所得																	
	山林所得																	
合計																		

注1. 給与所得は、前年(1年間)の源泉徴収票の支払金額を記入。(千円単位)  
 注2. 給与以外の所得は、必要経費を控除した金額を記入。(千円単位)

# 授業料免除申請書

## Tuition Exemption Application

東京医科歯科大学長 殿

学部・学科(Faculty):

研究科等名(Department):

氏 名(Name):

生年月日(Date of Birth): 年 月 日

学籍 (ID)					
---------	--	--	--	--	--

下記の理由により、平成24年度前期分の授業料を免除していただきたいので、別紙のとおり必要書類を添えて、保証人連署のうえ申請いたします。

[申請理由 Reason for application]

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

[主たる家計支持者が無職・失職中の場合、その年月及び生活費の出所を記載]

.....

.....

.....

平成 年 月 日

本人住所:〒

(sign) 氏 名: \_\_\_\_\_ 印

携帯電話: (cell phone)

Mail address: \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

(丁寧に記載すること。 Describe politely.)

(guarantor) 保証人住所:〒

(sign) 氏 名: \_\_\_\_\_ 印

電話番号: (自宅・携帯)

# 授業料徴収猶予申請書

## Tuition Deferment Application

東京医科歯科大学長 殿

学部・学科(Faculty) :

研究科等名(Department) :

氏 名(Name) :

生年月日(Date of Birth) : 年 月 日

学籍 (ID)						
---------	--	--	--	--	--	--

受験番号	
------	--

別途授業料の免除申請をいたしておりますので、授業料免除許可の可否が決定されるまでの間、授業料の徴収を猶予していただきたいので、保証人連署のうえ申請いたします。

平成 年 月 日

本人住所：〒

(sign) 氏 名： 印

携帯電話：(cell phone)

Mail address : .....@.....

(丁寧に記載すること。 *Describe politely.*)

(Guarantor)保証人住所：〒

(sign) 氏 名： 印

電話番号：(Phone)

# 推 薦 書

Recommendation Letter

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

大学院 研究科／教育部（修士・博士） 学年

学籍 (ID) :

氏名 (Name) :

上記の者は、研究意欲が旺盛で研究能力に優れ、また、研究の進捗状況が順調で、学業成績が相当優秀である<sup>(※)</sup>ため、授業料免除の適格者として推薦します。

平成 年 月 日

指導教員

所属・職名 (内線 )

氏 名 印

(※) 被推薦者について「相当優秀である」旨の理由を自筆にて記入して下さい。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

※推薦書は、必ず指導教員が記載して下さい。  
※大学院生にのみ必要な書類です。

# 独立生計申立書

Statement of Financial Independence

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

大学院 研究科・教育部（修士・博士） 学年

学部 学科 専攻 学年

学籍番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

私は、次のとおり独立生計者であることを申し立てます。

( I do solemnly and sincerely declare that I am financially independent of my parents. )

---

---

---

---

---

---

---

---

## 【独立生計の対象となる者（次のすべての要件を満たすこと）及び必要書類】

(To be financially independent must fulfill conditions below.)

- 父母等と別居していること。(You live separately from your parents.)  
【必要書類：父母等と本人各々世帯全員の住民票】(Document required: certificates of residence)
- 所得税法上、父母等の扶養親族でないこと。  
(You are not financially supported by your parents.)  
【必要書類：父母等の源泉徴収票、確定申告書（控）】  
(Document required: student's parents' certificate of withholding tax and tax return form)
- 本人（又は配偶者）に収入があり、その収入について所得申告がなされ、所得証明が発行される者。(You (or your spouse) have income and the declaration of the income should have been made at the tax office.)  
【必要書類：本人（配偶者を含む）の源泉徴収票、確定申告書（控）】  
(Document required: Document verifying the income)

# 授業料免除等証明書

Verification of Tuition Exemption

在学学校名： \_\_\_\_\_  
入学年度： 平成 \_\_\_\_\_ 年度入学， 学年： \_\_\_\_\_  
氏 名： \_\_\_\_\_

このたび、

東京医科歯科大学 [学部・研究科] \_\_\_\_\_ 年に在学中の、私の〔兄弟姉妹・  
配偶者〕である（氏名） \_\_\_\_\_ が授業料免除の申請をするにあたり、私の  
在学状況並びに授業料免除状況の確認を必要としますので、下記について証明願います。

## 記

1. 通学区分について  自宅通学  自宅外通学 (該当する事項にレ印)

2. 授業料免除状況（国立学校に在学の場合のみ該当）

平成23年度 授業料免除状況				授業料 (年額)	円			
前 期 分				後 期 分				
申請なし	不許可	半額免除	全額免除	申請なし	不許可	半額免除	全額免除	

(該当する実施状況項目を○で囲んでください。)

上記のとおり証明します。

平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

学 校 名 \_\_\_\_\_

所 在 地 \_\_\_\_\_

証明者：職 名 \_\_\_\_\_

：氏 名 \_\_\_\_\_ 印

：連絡先 \_\_\_\_\_ Tel: \_\_\_\_\_

## 収入状況等に関する申立書

*Statement of Income (revenues & expenses)*

東京医科歯科大学長 殿

所属(Faculty) (学部/研究科) 年(grade)  
 学籍番号 (ID) 

--	--	--	--	--	--	--	--

  
 氏 名(Name) 印

収入状況等について、下記のとおり申し立てます。

I do solemnly and sincerely declare that the revenues and the expenses situation are stated as follows.

### 1. 1ヶ月の平均生活費の内訳 (A budget of monthly living cost)

支 出 expenses (living expenses)		収 入(源泉) revenues	
項 目 categories	金 額 amount of money	項 目 categories	金 額 amount of money
食費 food expenses		家族から remittance	
住居費 housing expenses		定職 regular job	
光熱費 lighting and fuel		アルバイト part-time job	
書籍・学用品費 Books, school supplies		奨学金 scholarship (奨学団体) organization	( )
教養娯楽費 課外活動費 extracurricular activities		支給期間 Duration of Scholarship	年 yyyy 月 mm ~ 年 yyyy 月 mm
その他 other expenses		預貯金 deposit	
		その他 other revenues	
合 計 total expenses		合 計 total revenues	

### 2. アルバイト、パートについて (Part-time job) (該当する項目の□をチェック. Check □ a pertinent item.)

- これまでアルバイトはしていないし、今後もある予定はない。  
 (I was the unemployed past and now, and it is not scheduled to work.)  
 理由と今後の予定 (Reason for the unemployed.);

**私費外国人留学生用 Privately funded international students**

昨年 10 月から今年 3 月の間にアルバイトをしていた、またはしている。

*(I was employed part-time job last half year)*

詳細を下記の表に記入してください。 *Fill in details on the following table.*

アルバイト先 <small>office name</small> (職種 <small>Occupational category</small> )	就労期間 <i>Working period</i>	収入金 <i>income</i> 年額 <i>annual sum</i>
( )	年 <sup>yyyy</sup> 月 <sup>mm</sup> 日 <sup>dd</sup> ～ 年 <sup>yyyy</sup> 月 <sup>mm</sup> 日 <sup>dd</sup>	円
( )	年 <sup>yyyy</sup> 月 <sup>mm</sup> 日 <sup>dd</sup> ～ 年 <sup>yyyy</sup> 月 <sup>mm</sup> 日 <sup>dd</sup>	円
( )	年 <sup>yyyy</sup> 月 <sup>mm</sup> 日 <sup>dd</sup> ～ 年 <sup>yyyy</sup> 月 <sup>mm</sup> 日 <sup>dd</sup>	円

注意点 *notes*;

1) 複数のアルバイト等を行っている場合は、職種別に記入してください。

*Fill it in according to the occupational category when two or more moonlighting.*

2) 証明書類として、前年の「源泉徴収票」を添付してください。ない場合に、別紙様式「給与支払証明書」を添付してください。

*Be sure to submit previous year' certificate of withholding or 給与支払(見込)証明書 A pay (expectation) certification.*

**3. 定職について (Regular occupation)**

勤務先 *office* ・ 職種 *Occupational category* :

在 職 期 間 *Period* :

収 入 金 額 *Employment income* : 月額 *Monthly sum* \_\_\_\_\_ 円  
年額 *Annual sum* \_\_\_\_\_ 円

注意点 *notes*;

証明書類として、前年の「源泉徴収票」を添付して下さい。ない場合は別添様式「給与支払証明書」を添付して下さい。

*Be sure to submit the previous year' certificate of withholdings 給与支払(見込)証明書 A pay (expectation) certification when not previous year' certificate of withholding.*

# 明 細 表

平成 年 月 日

学部・研究科等 \_\_\_\_\_

学 籍 番 号 \_\_\_\_\_

申 請 者 氏 名 \_\_\_\_\_

## 1. 「長期に療養を要する人のいる世帯」の治療費・療養費等明細表

療養者氏名 [ ]		支払金額A	補填される金額B	自己負担額(A-B)
	申請者との続柄 [ ]	4月		
療養期間 平成 年 月 日 ～現在	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
	合計			

## 2. 「主たる家計支持者が別居している世帯」の経費明細表

別居者氏名 \_\_\_\_\_ 住所 \_\_\_\_\_

	住居費	電気料金	水道料金	ガス料金	合計
4月					
5月					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					
合計					

# 給与支払(見込)証明書

*A pay (expectation) certification*

受給者氏名(*recipient*) \_\_\_\_\_

雇用期間 *Employment period* (予定を含む *Inc. Expectation*) :

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

雇用形態	給与金額		賞与支給の有無、金額	
正社員	※ 支払額 支払見込額	※ 月額・年額 円	※ 有・無	円
※ アルバイト パート	※ 支払額 支払見込額	※ 月額・年額 円	※ 有・無	円

月額 : 平成 年 月 円

平成 年 月 円

平成 年 月 円

月平均 *Monthly average* \_\_\_\_\_ 円

注1) ※の欄は、どちらかの文字を○で囲んでください。

注2) 給与金額が月額の場合は、最近の3ヶ月分の給与の平均額を記入し、年額の場合は賞与を除いた額を記入してください。

注3) 賞与の額は、1年間の合計額を記入してください。

上記のとおり証明します。

平成 年 月 日

(*an employer*)

雇い主又は会社名 \_\_\_\_\_

印

## 授業料免除申請に係る家計評価（試算表）

○所得に関すること(同一生計者)			[単位:千円]					
続柄	氏名	所得の種類	収入金額		控除金額		所得金額	
本人	(ID)	給与所得	/	/	/	/		
		給与以外の所得	/	/	/	/		
		奨学金	/	/	/	/		
		給与所得						
		給与以外の所得						
総所得金額合計					①			

※給与所得の控除金額算出方法

- (1) 1,040千円以下のものは、同額とする。
- (2) 1,040千円を超えて2,000千円までのものは、(収入金額×0.2+830千円)
- (3) 2,000千円を超えて6,530千円までのものは、(収入金額×0.3+620千円)
- (4) 6,530千円を超えるものは、2,580千円とする。

○特別控除額に関すること(特別な事情の区分)				控除額	
1. 母子、父子世帯であること	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	[ 490千円]			
2. 就学者 小学校	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	[ 80千円]			
中学校、中等教育学校(前期)	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	[ 160千円]			
高等学校※中等教育学校(後期)	区分	自宅通学	自宅外通学		
	(国公立)	280千円	470千円		
	(私立)	410千円	600千円		
高等専門学校	(国公立)	360千円	550千円		
	(私立)	600千円	800千円		
大学	(国公立)	590千円	1,020千円		
	(私立)	1,010千円	1,440千円		
専修学校高等課程	(国公立)	170千円	270千円		
	(私立)	370千円	460千円		
専修学校専門課程	(国公立)	220千円	620千円		
	(私立)	720千円	1,120千円		
3. 本人を対象とする控除	<input type="checkbox"/> 自宅通学 <input type="checkbox"/> 自宅外通学	280千円	720千円		
(注) 上記の就学者で授業料全額免除を受けている場合は、上記の就学者の対象外とし、(3. 本人を対象とする控除)と同額を控除する。 また、半額免除を受けている場合は、上記金額を超えない範囲内で授業料納入額を加算する。					
4. 障害者がいること	[1人: 860千円] × ( 人)	<input type="checkbox"/> いない			
5. 長期療養者がいること	(療養のため経済的に特別な支出をしている額)	<input type="checkbox"/> いない			
6. 主たる家計支持者が別居している	※限度額: 710千円	<input type="checkbox"/> していない			
7. 火災、風水害、盗難等の災害があった	(生活費を得る為の畑、店舗等)	<input type="checkbox"/> ない			
8. 父母以外の所得で生計	※限度額: 380千円	<input type="checkbox"/> 該当しない			
特別控除額合計			②		

○全額免除・収入基準額(家計評価額算出用)

世帯	学部学生	修士課程	博士課程	収入基準額
1人	880千円	960千円	1,320千円	世帯人数 ( 人) ④ 千円
2人	1,400千円	1,520千円	2,120千円	
3人	1,620千円	1,770千円	2,450千円	
4人	1,750千円	1,920千円	2,660千円	
5人	1,890千円	2,080千円	2,880千円	
6人	1,990千円	2,170千円	3,020千円	
7人	2,070千円	2,260千円	3,150千円	

認定所得金額 (総所得金額合計) ③	
( ① - ② )	
家 計 評 価 額	
( ③ - ④ )	

\*家計評価額が「マイナス」の者について、認定する。  
 \*特別な事情のある者(長期療養者、身体障害者のいる世帯など)は、家計評価額がプラスでも、そのプラス部分が基準額の10%以内であれば、認定する。

## 2012 1st Semester (for Currently Enrolled Students)

# Tuition Exemption Eligibility Guidelines

“Gakusei\_shien\_ka”, Student Affairs Division, Tokyo Medical and Dental University

### What is the tuition exemption system?

Students may apply for full or half tuition exemptions based on the applicant’s financial circumstances and past academic performance.

The application process often delays if incomplete applications are submitted, so be sure to submit all of the information required.

#### Eligible Students

(1) Students who would have difficulties paying tuition due to financial hardship and who are recognized as having demonstrated excellent academic performance.

(2) Students who would have difficulty paying their tuition due to the following conditions:

- a. When the person who is primarily responsible for paying the student’s academic expenses (hereafter the “payer of academic expenses”) dies within six months (for new enrollees, within one year of the semester during which the student enrolled) prior to the due date for 2012 1st semester tuition (generally April, 1, or if the applicant themselves or the payer of academic expenses has been affected by a natural disaster.
- b. Under conditions equivalent with those listed above, when an exemption is deemed appropriate by the president of the university.

Neither students who have been enrolled for longer than the minimum term of study nor students repeating the same year are eligible for this exemption, but exceptions may be made in certain cases. Consult with “Gakusei\_shien\_ka”, regarding your particular situation.

Both the student’s financial circumstances and academic performance will be taken into consideration when making decisions regarding approving or rejecting tuition exemption applications, and it is not uncommon for applications to be rejected not only for financial reasons, but because the student’s academic performance does not meet the established criteria.

### Application Procedures

#### 1. Acceptance of application materials

March. 13 (Tues.) to March. 16 (Fri.), 2012. Four days only.

Hours: 12:30 to 5:15 p.m.

\*These date and time restrictions will be strictly followed. Applications will not be accepted during any other of the dates and times indicated.

\*Applications must be submitted in person by the student applicant. Applications will not be accepted from anyone other than the student applicant.

However, if the applicant is unable to submit the application in person due to an illness or other special circumstance, they should contact “Gakusei\_shien\_ka”, in advance.

(2) Where to Submit Applications

- “Gakusei\_shien\_ka”, (Building no.1, WEST, 1F), Yushima Campus, Tel: 03-5803-5077  
All students

Notification of Results

Decisions regarding the approval or rejection of applications will be posted on the bulletin board (“Gakusei\_shien\_ka”, College of Liberal Arts and Sciences). Decisions are expected to be made in June.

Payments for those who do not receive the exemption

Those whose are not selected to receive an exemption or who receive a half exemption should promptly pay any tuition due (for information regarding payment procedures, contact the Accounts Section<”Shikin\_ka”>, Finance Division, Tel: 03-5803-5048).

Those who have not paid their tuition by the specified due date will receive a collection notice. Those who remain in default will be expelled pursuant to the stipulations of the university code or graduate school code.

Application Materials

The following materials must be submitted when applying for a tuition exemption.  
Please be aware that incomplete applications will not be reviewed or examined.  
When filling in the various documents, please read the completion instructions carefully.

-----Documents to be submitted by privately financed international students

Required documents	
a. Tuition exemption application	Form 3
b. Tuition deferment application	Form 4
c. Household status report	Please indicate information as of April 1, 2012.
d. Statement of income	
e. Verification of foreign resident registration	For the applicant and <u>all members</u> of the same household.
f. Document verifying income	Documents verifying the income of <u>all income earners</u> in the family - previous year’ Municipal Resident’s Tax / Prefectural Resident’s Tax certificate (showing the amount of income) <sup>*See Note</sup> - previous year’ certificate of withholding - previous year’ tax return form, marked as “accepted” by the tax office - Other document verifying the individual’s income, such as a photocopy of a pay statement.
g. When one of the documents verifying income (f) cannot be obtained	- Photocopy of documents submitted to obtain a visa - Photocopy of a bank checkbook or savings passbook - Photocopy of documents verifying a transfer (amount) of funds from the applicant’s country of origin

Documents that must be submitted by the appropriate parties	
a. Recommendation letter (by the student's academic advisor)	Graduate school students only
b. Statement of financial independence	For applicable students only*See Note 1
c. Verification of enrollment	If there are other family member enrolled in school (in Japan) <u>beyond compulsory education</u> .
d. Verification of tuition exemption	When a family member is <u>enrolled in a national school</u> (in Japan)

Shared requirements for both Japanese and international students

Documents showing that the applicant or a member of the applicant's family fulfills the following criteria			
	Criteria	Verifying document	Issuer
Income-related	When the individual earns income from a <u>family-owned company</u>	previous year' certificate of withholding, a photocopy of a pay statement, or their previous year' tax return form	Employer, tax office
	When the individual has wage earnings from a <u>part-time or temporary job</u>	previous year' certificate of withholding or a photocopy of a pay statement	Employer
	Individuals who <u>started working part way through</u> the previous year	previous year' certificate of withholding or a photocopy of a pay statement	Employer
	When the individual left (or plans to leave) a job between October last year to March this year.	Certificate of resignation	Employer
	When the individual is receiving <u>employment insurance</u> (such as unemployment) payments	Photocopy of the employment insurance recipient's card and a photocopy of a document verifying the amount received	Public employment security office (Hello Work)
	When the individual is receiving (or plans to receive) <u>pension payments</u>	A document showing the annual amount received, such as a pension payment statement or revision statement, or a previous year' tax return.	City office Social insurance agency
	When the individual has income from <u>commerce, agriculture, or apartment management</u>	previous year' tax return	Tax office
	When the individual has income from employment <u>other than wage earnings, agriculture, or commerce, industry, or forestry</u>	previous year' tax return	Tax office
	When an individual is receiving <u>public welfare assistance</u>	Public welfare recipient certificate	Social welfare office
	When the individual has extraordinary income, such as <u>insurance payments</u> , between October last year to March this year.	Document verifying the amount of the extraordinary income (such as an insurance payment certificate)	Employer, insurance company
	When the individual has been issued a <u>crop changeover encouragement subsidy</u>	Crop changeover encouragement subsidy issuance certificate	City office

If the household income earner or payer of academic expenses dies (within six months prior to application, or for new enrollees, within six month of the semester during which the student enrolled)	Copy of the family register	City office or employer
When the applicant lives in a <u>single-parent household</u>	Copy of the family register	City office
When the family includes <u>handicapped members</u>	Photocopy of the physically handicapped certificate or an A-bomb survivor certificate (if the individual was injured)	Held by the individual
When the family includes a person requiring <u>long-term care</u> (a person who has been receiving or will require care for six months or longer as of the time of application)	* Doctor's diagnosis, receipt for medical treatment, and a document verifying the benefit amount if the individual is receiving medical treatment benefits from a social insurance or mutual aid society program. * The enclosed list (long-term care recipients, separate from household financial support)	Hospital or other medical institution
If the student's <u>financial supporter lives in a separate residence</u>	* Certificate of residence, documents verifying the amount of housing and utility expenses being paid by the financial supporter living in a separate residence * The enclosed list (long-term care recipients, separate from household financial support)	Held by the individual
If an individual has been affected by <u>fire, flood</u> , or other property loss	Victim Identification Card or other document verifying the damage sustained.	Fire Department, Police Department City office

Use the budget worksheet before applying for the exemption

1. Before submitting your application for the tuition exemption, assess the financial circumstances of the applicant using the enclosed budget worksheet
2. If the household budget amount (3 - 4) is not a negative figure, the student will not be eligible for the exemption.
3. Because this is a simplified worksheet, the results may not necessarily reflect the results of the actual examination. Be aware that this worksheet is for informational purposes only.

#### Notes

1. "Financial independence" means that the applicant is living on their own and supporting themselves, and is only recognized if all of the following criteria are met:
  - a. Must be living in a separate residence from their parents.
  - b. Is not considered a dependent of their parents for tax purposes.
  - c. The applicant (or their spouse) earns an income, files an income tax return for that income, and has been issued documents verifying that income.

Documents required to establish (confirm) a student's financial independence

- a. Certificates of residence for the student's parents and the applicant.
- b. A copy of the student's parents' certificate of withholding tax and tax return form, or other documents confirming that the student is not considered a dependent of their parents for tax purposes.
- c. Document (such as certificate of withholding tax or tax return form) verifying the income of the applicant (or their spouse).

(If these documents are not readily available, the applicant may submit a Taxation (or Nontaxation) Certificate.)

#### Document verifying income

Because the taxation (nontaxation) certificates issued by some municipalities do not verify the individual's income, you may have to visit your municipal government office to obtain an appropriate document verifying the applicant's income.

2. If any information contained in the materials submitted is found to be false, exemption approval may be rescinded.

3. Inquiries should be addressed to the following:

"Gakusei\_Shien\_ka", School Affairs Division.

Tel: 03-5803-5077

[Building no.1 West,1F]

[kousei.adm@ml.tmd.ac.jp](mailto:kousei.adm@ml.tmd.ac.jp)

#### Apply Every Semester, Every Year

Applications for a tuition exemption must be made every semester (first and second semester), every school year.

Even individuals who receive an exemption for the first semester will not be considered or approved for a second-semester exemption if they fail to apply again for the second semester.

# Form Completion Instructions

(for the 1st Semester Tuition Exemption)

## Tuition Exemption Application : 別紙様式 3 (Form 3)

1. In the "Name / Address" section, the applicant and the applicant's guarantor must each enter his/her own name and address. The guarantor may be different from the person who provided when entering a school. However, the guarantor should be a person who has the income in Japan.
2. In the "Reasons for applying" section, explain in detail your reasons for applying for the exemption which are not specified in the family budget information, based on your circumstances as of April 1, 2012.
3. In the "primary wage earner" section, enter the reasons for the primary household supporter's unemployment or job loss, the date on which that individual became unemployed, and the source of funds currently being used to pay for living expenses.
4. The telephone number and email address provided may be used to contact you for an evaluation if the need is urgent. Be sure to **legibly write the email address and telephone number where you can definitely be reached.**

## Tuition Deferment Application : 別紙様式 4 (Form 4)

In the "Name / Address" section, the applicant and the applicant's guarantor must each enter his/her own name and address.

## Household Status Report (家庭調書)

1. On the items marked with a ※, circle the appropriate response.
2. Please do not enter anything in the section marked "大学記入欄"(To be completed by the university).
3. “奨学金受給状況”(Scholarship or Grant reception status)
  - (1) Be sure to note the name of scholarship and the annual amount awarded (from April of last year to March of this year).
4. "留年・休学歴" (Years repeated, leaves of absence) section  
Indicate if you have ever, prior to applying for this exemption, repeated a year of school or taken a leave of absence from school.
5. "独立生計者" (Confirmation of financial independence) section  
Refer to page 6 of the Tuition Exemption Eligibility information, and indicate whether you meet the established criteria.
6. "就学者を除く家族" (Family members excluding enrolled students) section
  - (1) Enter the information on family members living in the same financial household, excluding enrolled students.
  - (2) If one of the applicant's parents has died or lives in a separate household, enclose that person's name in parentheses ( ), and in the "特別控除" (Special deductions) section, enter the date of death/household separation under the "Single-parent household" heading.
  - (3) If a family member works during the day and attends school at night, make the notation "Night school student" under his/her name, and also enter that person's name and school in the "Enrolled students" section.
7. "就学者" (Student in your family) section
  - (1) Enter information regarding students enrolled in a school as of April 1. If a family member intends to enroll in a school, this will be confirmed through the letter notifying the individual that they have passed their school's entrance exam.

(2) An "enrolled student" is defined as a family member in the same financial household who is attending one of the following types of schools:

Elementary school, junior high school, high school, university, graduate school (including advanced courses), school for the blind, school for the deaf, school for handicapped children, teachers' training school, special training school (excluding general courses).

(3) If a family member is attending a "special training school," enter the official name of the school and note the prefecture in which the school is located in parentheses ( ).

(4) "Students of various other schools, preparatory school students, and students who have failed an entrance exam," and family members who are attending a \_\_\_\_\_ school, such as the "National Defense Academy or a fisheries college," or who are attending an "international school," and "university researchers and nondegree students" are not considered enrolled students. Their names should therefore be entered in the "Family members excluding enrolled students" section.

(5) If a sibling (excluding elementary and junior high school students) or spouse has been enrolled in a national (public) school since the previous year, indicate whether they received a tuition exemption on the Tuition Exemption Application [Verification of tuition exemption ].

If the individual did not receive a tuition exemption for either first or second semester, leave the "annual tuition amount" section blank.

If a sibling or spouse is enrolled in this university (Tokyo Medical and Dental University), enter the name of their department (research course) in the "School attended (year in school)" section.

#### 8. "特別控除" (Special deductions) section

(1) A single-parent family is defined as a family that meets one of the following criteria:

a. A household comprised of a father or mother and child under the age of 18.

b. A household comprised of a father or mother, a child under the age of 18, and grandparents with no economic resources aged 60 or older.

c. A household comprised of children under the age of 18.

d. A household comprised of a child under the age of 18 and grandparents aged 60 or older.

e. A household comprised of an unmarried sibling and a child under the age of 18.

f. A household comprised of an unmarried sibling, a child under the age of 18, and grandparents with no economic resources aged 60 or older.

Note: Siblings aged 18 or older who are enrolled in school or are non-working due to long-term care obligations or a physical handicap shall be treated as children under the age of 18.

- "Grandparents with no economic resources" is defined as individuals whose income in the previous year was less than ¥500,000.

- "Grandparents" and "siblings" also refer to situations where there is only a single grandparent or a single sibling.

(2) A "household with a handicapped member" is defined as a household in which one of the family members fulfills one of the following criteria:

a. An individual who has been (or could be) issued a Physically Handicapped Certificate pursuant to the Law for the Welfare of Physically Handicapped.

b. An individual who has been certified as having a pollution-related disease or who has been physically injured by pollution.

c. An atomic bomb survivor whose physical functions are impaired.

d. Individuals deemed to lack the ability to think sensibly and reasonably due to a mental health impediment or deemed to have an intellectual handicap.

e. Individuals who are permanently bedridden and require complex care.

Note: If situations b to e apply, the applicant should provide a detailed explanation in the "Reasons for applying" section of the Tuition Exemption Application [Tuition Exemption Application : 別紙様式 3].

(3) A "household with a long-term care recipient" is defined as a household in which one of the members has been receiving care or has been deemed to require care for six months or longer as of the date of application.

Medical care expenses shall consist of the following. Do not include expenses that are covered by health insurance.

- a. The treatment fees or medical care expenses paid for receiving treatment by a doctor or dentist.
- b. Expenses incurred for admission into a hospital or other facility (excluding meal fees for admitted patients)
- c. Expenses incurred for receiving treatment by an *anma* massage (traditional Japanese massage) therapist, acupuncturist, or judo-orthopedic therapist.
- d. Expenses paid to nurses (including boarding).
- e. Drug expenses incurred for therapies or medical treatment.
- f. Transportation expenses incurred for traveling to hospitals and other facilities (limited to those deemed necessary).
- g. Ten percent (10%) of the out-of-pocket expenses paid by individuals who have been certified as "requiring care" or "requiring assistance" under the Long-Term Health Care Law when using care services.

Note: Please gather and affix copies of receipts to facilitate calculations, and itemize your expenses on the enclosed Detailed Statement (Households with a Long-Term Care Recipient/Households in which the Primary Financial Supporter Lives in a Separate Residence).

(4) A "household in which the primary financial supporter lives in a separate residence" is defined as a household that incurs extraordinary housing expenses because the financial supporter works away from home.

The extraordinary expenses incurred are limited to housing costs, and electrical and water utilities.

Note: Please gather and affix copies of receipts to facilitate calculations, and itemize your expenses on the enclosed Detailed Statement (Households with a Long-Term Care Recipient/Households in which the Primary Financial Supporter Lives in a Separate Residence).

(5) A "household that has been affected by fire, flood, or other property loss" is defined as a household that has been affected by a disaster in the year prior to application, whose expenditures have dramatically increased or income decreased as a result of that disaster, and who are deemed likely to face particularly challenging financial circumstances for a prolonged period in the future (two years or longer).

The amount of damage shall be calculated as follows:

- a. If there has been an impact on the household goods necessary to live everyday life.
  - A minimum amount of expenditures for clothing and furniture, repair costs.
- b. If an individual's means of production, such as their farm or commercial shop has been impacted
  - Annual amount of expected income losses over a prolonged period
- c. If an individual has claimed a deduction for casualty losses on their income tax due to the impact incurred, the amount of that deduction.

Income Report : 収入状況調書
------------------------

1. This statement should be completed for the entire family that shares a single family budget.  
Be sure to include information for individuals who work during the day and attend night school.
2. Also, provide information on individuals with no income in the "name," "age," and "current occupation" sections, and in the "total income" section write "0."
3. In the "Current occupation" section, indicate specifically whether the individual is a company employee, elementary school teacher, city government official, agricultural cooperative worker, fisher, or worker in the \_\_\_\_\_ manufacturing industry. If the individual is not employed, indicate specifically if she is a housewife.

4. "Employment Income" Section

(1) "Employment income" is defined as remuneration, salary, wages, official compensation, annual allowance, annual bonuses, pensions, retirement income, and other such income (including welfare benefits, unemployment allowance, family employee wages, and disability benefits).

The amount depends on the category of income, as shown below.

Category	Amount (unit: ¥1,000, rounded to the nearest ¥1,000)
Remuneration, salary, wages, official compensation	Enter the amount of income received between January and December of the previous year. The amount shown in the "Amount paid" section of the Certificate of Withholding.
Pensions, benefits, unemployment allowance	The total annual amount received in the previous year.
Family employee wages	The amount shown as "Income earned from family employment" shown in Table 2 of Form B of the individual's year before last's income tax return.

\*Be sure to submit the verifications of income indicated in the Tuition Exemption Eligibility Guidelines.

(2) "Non-wage income" is defined as income derived from commerce, industry, forestry, fisheries, and agriculture, miscellaneous income, and extraordinary income.

a. The amounts of income derived from commerce, industry, forestry, fisheries, and agriculture shall be as shown below.

Category	Amount (unit: ¥1,000, rounded to the nearest ¥1,000)
Commerce, industry, forestry, fisheries	The amount of revenues earned (total sales) from January to December of the previous year, minus the cost of goods sold and necessary business expenses. The total of amounts (1) to (5) in the "Income amount" shown in Table 1 of Form B of the individual's year before last's income tax return.
Agriculture	The amount of revenues earned (total sales) from January to December of the previous year, minus expenses for such purchases as fertilizer, seeds, livestock feed, and power machinery fuel (expenses incurred to earn the previous year's income). The total of amounts (1) to (5) in the "Income amount" shown in Table 1 of Form B of the individual's year before last's income tax return.

b. "Other occupations" are defined as occupations that produce employment income or occupations in industries other than commerce, industry, forestry, fisheries, and agriculture, that is, practicing physicians, attorneys, authors, certified public accountants, diplomats, tax accountants, carpenters, and plasterers.

c. "Miscellaneous income" is defined as income from home rentals, land rentals, interest, dividends, side jobs, and financial assistance from relatives.

Enter the total amount of such income received in the previous year (January to December).

d. "Extraordinary income" is defined as (lump-sum) retirement allowances, insurance payouts, income from the sale of assets, and timber income.

Enter the amount of total income minus expenditures such as taxes and other public charges.

Enter the amount actually received in the six months prior to the date of application for the tuition exemption.

Statement of income (revenues & Expenses) : 収入状況調書

**It is a document that only a Japanese student submits.**

1. This statement should be completed for the entire family that shares a single family budget.  
Be sure to include information for individuals who work during the day and attend night school.
2. Also, provide information on individuals with no income in the "name," "age," and "current occupation" sections, and in the "total income" section write "0."
3. In the "Current occupation" section, indicate specifically whether the individual is a company employee, elementary school teacher, city government official, agricultural cooperative worker, fisher, or worker in the \_\_\_\_\_ manufacturing industry. If the individual is not employed, indicate specifically if she is a housewife.
4. "Employment Income" Section
  - (1) "Employment income" is defined as remuneration, salary, wages, official compensation, annual allowance, annual bonuses, pensions, retirement income, and other such income (including welfare benefits, unemployment allowance, family employee wages, and disability benefits).

The amount depends on the category of income, as shown below.

Category	Amount (unit: ¥1,000, rounded to the nearest ¥1,000)
Remuneration, salary, wages, official compensation	Enter the amount of income received between January and December of the previous year. The amount shown in the "Amount paid" section of the Certificate of Withholding.
Pensions, benefits, unemployment allowance	The total annual amount received in the previous year.
Family employee wages	The amount shown as "Income earned from family employment" shown in Table 2 of Form B of the individual's year before last's income tax return.

\*Be sure to submit the verifications of income indicated in the Tuition Exemption Eligibility Guidelines.

- (2) "Non-wage income" is defined as income derived from commerce, industry, forestry, fisheries, and agriculture, miscellaneous income, and extraordinary income.

a. The amounts of income derived from commerce, industry, forestry, fisheries, and agriculture shall be as shown below.

Category	Amount (unit: ¥1,000, rounded to the nearest ¥1,000)
Commerce, industry, forestry, fisheries	The amount of revenues earned (total sales) from January to December of the previous year, minus the cost of goods sold and necessary business expenses. The total of amounts (1) to (5) in the "Income amount" shown in Table 1 of Form B of the individual's year before last's income tax return.
Agriculture	The amount of revenues earned (total sales) from January to December of the previous year, minus expenses for such purchases as fertilizer, seeds, livestock feed, and power machinery fuel (expenses incurred to earn the previous year's income). The total of amounts (1) to (5) in the "Income amount" shown in Table 1 of Form B of the individual's year before last's income tax return.

b. "Other occupations" are defined as occupations that produce employment income or occupations in industries other than commerce, industry, forestry, fisheries, and agriculture, that is, practicing physicians, attorneys, authors, certified public accountants, diplomats, tax accountants, carpenters, and plasterers.

c. "Miscellaneous income" is defined as income from home rentals, land rentals, interest, dividends, side jobs, and financial assistance from relatives.

Enter the total amount of such income received in the previous year (January to December).

d. "Extraordinary income" is defined as (lump-sum) retirement allowances, insurance payouts, income from the sale of assets, and timber income.

Enter the amount of total income minus expenditures such as taxes and other public charges.

Enter the amount actually received in the six months prior to the date of application for the tuition exemption.

Statement of income (revenues & Expenses) : 収入状況等に関する申立書

Only privately funded international students must submit this form. This statement must be completed for the entire family that shares a single family budget.

**1. 1ヶ月の平均生活費の内訳 (A budget of monthly living costs)**

This figure should be completed for the entire family that shares a single family budget.

●支出 Expenses

Enter the expenses for monthly cost of living. In the case of shared accommodation, enter only your individual payment in the housing expenses section.

●収入 Revenues

**Enter your average monthly income as the amount.**

1. "Remittance" section

Enter the amount of money received monthly from your family or relatives

2. "Regular job" section

Enter the monthly base salary from your regular job..

3. "Part-time job" section

In the section, enter the income received from work as a RA, TA, or GCOE. Use the information found on the monthly pay statement received from the university.

In both cases, submit previous year' certificate of withholding or a pay (expectation) certification.

4. "scholarship" section

Write monthly amount, organization and duration of all scholarships.

5. "deposit" section

Enter amount withdrawn from savings each month.

6. Enter all other funds or income in this section, or example cash on hand from your home country.

**Given the need to pay living expenses, this number may not be zero.**

Recommendation letter from the student's academic advisor : 推薦書

1. This form only applies to graduate school students.

2. The recommendation letter is required for the academic performance component on which tuition exemption is determined. (The student's academic advisor is to write any observations that support his/her recommendation.)

Statement of Financial Independence : 独立生計申立書

1. This form is only required of applicable students.

2. Students wishing to be treated as financially independent must fulfill all of the conditions stipulated on this form, and must provide documents verifying that those conditions have been met.

Notes

“Financial independence” means that the applicant is living on their own and supporting themselves, and is only recognized if all of the following criteria are met:

1. Must be living in a separate residence from their parents.
2. Is not considered a dependent of their parents for tax purposes.
3. The applicant (or their spouse) earns an income, files an income tax return for that income, and has been issued documents verifying that income.

Verification of Tuition Exemption
-----------------------------------

- 1 . Required when other family members are enrolled in a national school.

Statement of Income
---------------------

1. This statement must only be submitted by privately funded international students.
2. Because it would be unreasonable for income to be zero (given the need to pay everyday living expenses), indicate the actual income on this form. Enter your average monthly income as the amount.